



2023.6.25



出典（朝日中高生新聞）

## 男女平等、日本は世界で 125 位

WEF「ジェンダーギャップ報告書」

### 【知識】

世界経済フォーラム  
(WEF)

経済、政治、学究、その他の社会におけるリーダーたちが連携することにより、世界、地域、産業の課題を形成し、世界情勢の改善に取り組むことを目的とした国際機関のこと。1971 年にスイスの経済学者クラウス・シュワブにより設立された。毎年、世界各国のジェンダーギャップ指数などを発表している。

ジェンダーギャップ

男女の違いにより生まれる社会的、文化的格差のこと。「男女格差」、「ジェンダー不平等」とも呼ばれる。  
ジェンダーは、女性は料理や掃除がうまいもの、男性は力が強くて泣くなんてみっともないなどといった、社会的、文化的に形成された意識のことで、時代や背景によっても変化する。

### 【読解】

問 1. 世界全体の結果は、どのようになりましたか？

男女が平等な状態を 100% とした場合、世界全体の達成率は、68.4% で前年から 0.3 ポイント改善した。女性の労働参加などが鈍ったコロナ禍で、悪化していた達成率はコロナ禍前の水準まで回復した。しかし、今のペースでは、平等の実現に 131 年かかり、達成するのは 2154 年になると試算されている。

問 2. なぜ、日本は 125 位という順位になってしまったのでしょうか？

日本の達成率は 64.7% で世界全体の達成率と比べると 3.7% 下回った。教育分野は 47 位、健康分野は 59 位だったが、政治と経済分野の遅れが響いたため。  
また、衆議院議員や閣僚に女性が少ない政治分野は 138 位であった。収入や企業の役員・管理職の割合での平等も進まず、経済分野も世界 123 位と低迷している。

### 【思考】

(考え方)

世界と比べ、どのような違いがあるのでしょうか。教育、健康、政治、経済などの違いを調べてみましょう。